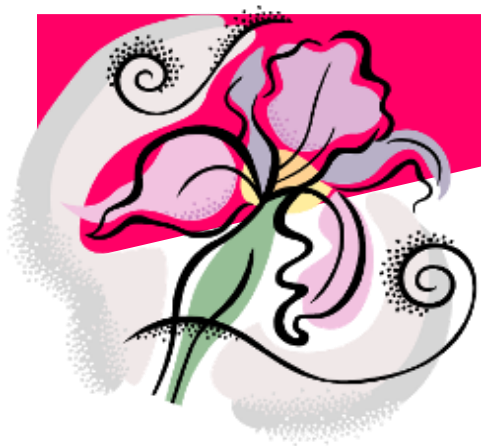


発行日
令和8年2月19日



Iris
新潟市立鳥屋野小学校
あいらす



ホームページ
<http://blog.city-niigata.ed.jp/toyano-es/>

生活科・総合学習の取組

地域の皆様には、当校の教育にご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。

さて、鳥屋野小学校の生活科・総合的な学習の時間では、自分の育っている地域の特色や素晴らしさについて学んでいます。探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、子どもたちは学習を進めています。これまでの学習の様子をお知らせいたします。

1年生 生活

1年生では、「幼児期の経験や学びをつなぐ」「子どもと子どもをつなぐ」「子どもの思いや願いをつなぐ」ことを大切にした生活科に取り組んできました。

〈4月「学校探検」〉

4月の入門期は、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行う「スタートカリキュラム」を実施しています。学校探検をしながら学校の施設やルールを覚え、様々な人と触れ合いました。見つけたものを絵に描いたり言葉で伝えたりする活動を通し、「次は、〇〇教室へ行ってみたいな」「この部屋は、何をするとところなのか調べたいな」という思いや願いを持ち、学校生活に慣れ親しんでいくことができました。



〈9月「夏となかよし」〉

水遊びをした経験をもとに、グループに分かれて「水鉄砲」「シャボン玉」「色水遊び」を楽しみました。「もっと遊びを楽しくするにはどうしたらよいか」を考えながら、水を遠くに飛ばしたりシャボン玉をさらに大きくしたりする方法を試行錯誤しました。自分の経験や友達からのアドバイスをもち、学習を追求する姿が見られました。



2年生 生活

〈6月「町をたんけん大はっけん」 10月「もっともっと町たんけん」〉

6月の町探検では、地域にはさまざまなお店や施設があることを知るために、3回に分けて校区を2年生みんなで歩きました。

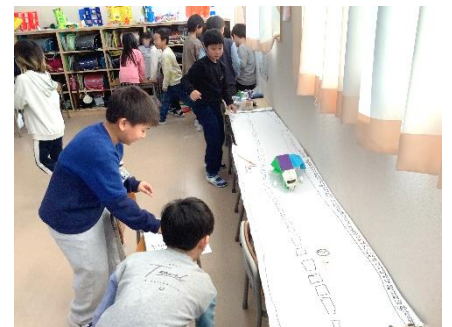
10月の町探検では、校区の18か所のお店や施設にグループで行き、見学やインタビュー活動を行いました。子どもたちは、お店や施設の方々から温かく親切にいただき、地域で働く方々の思いを知り、自分たちの生活を豊かにしてくれていることに気付きました。まとめでは、タブレットで写真を見せたりクイズを作ったり、ポスターや紙芝居、人形劇など、グループごとに工夫をして、学んだことを友達に伝えました。



〈12月「あそんで作ってくふうして」〉

紙コップやストロー、トイレットペーパーの芯など身近な材料を使い、動くおもちゃ作りに挑戦しました。

「どうやったらよく動くかな？」と試行錯誤しながら自分のお気に入りのおもちゃを完成させました。その後、学級ごとに「おもちゃ祭り」を開催しました。お店屋さんになって遊び方を教えたり、お客さんになって友達のおもちゃで遊んだりしました。車のコースやアーチェリーの的、ランキングなど様々な工夫をして、みんなで遊びを作り出す楽しさを感じていました。



3年生 総合「鳥屋野のお宝！大発見!!」

〈5～11月「鳥屋野の6つのお宝」〉

春の町探検で校区を周りたくさんの鳥屋野のお宝を見つけました。見つけたお宝の中から鳥屋野神社、逆さ竹、親松排水機場、地酒の都屋、信濃川、陽街公園の6つに絞り、地域の方から話をお聞きしたり、資料を調べたりしました。それぞれのお宝の情報や良さについて、グループで協力して表現を工夫して新聞にまとめました。



〈12月～「女池菜も鳥屋野の宝」〉

鳥屋野特産の女池菜について、農家の早川辰則さんからお話を聞きました。女池菜について調べ女池菜の良さを地域の人に伝えるチラシやポスターを作り、スーパーマーケットに掲示してもらう予定です。



4年生 総合「つながる水の環～鳥屋野潟～」

〈4月「鳥屋野潟公園に探検に行こう」〉

ネイチャーガイドの方から、鳥屋野潟公園の自然についてガイドしてもらいました。多くの種類の鳥や植物、水の中の生き物が見られる公園の素晴らしい自然環境は私たちの宝です。鳥屋野潟や鳥屋野潟公園の自然を美しく守って行くために自分たちができることは何なのか、鳥屋野潟の環境についてさらに調べてみたいことを見つけ、調べ活動を通して考えを深めていきました。



〈5月「がってん基地へ探検に行こう」〉

清五郎潟にある「がってん基地」で、水辺の会の方から、鳥屋野潟の生き物や歴史、私たちの生活とのつながり等についてクイズ形式で分かりやすく教えていただきました。

また、実際に生き物に触ったり、木舟に乗ったりする体験を通して鳥屋野潟の豊かな恵みを身近に感じ、大切にしていこうという気持ちをもつことができました。



5年生 総合「大好き新潟～食から見た鳥屋野～」

米作りの先生、山岸信一さんやJAの方にご指導していただきながら、学校田で「鳥屋野 Challenge 米」を育てました。大勢の地域ボランティアの方に協力していただき、田植え、かかし作り、稲刈り、米販売、なわないなどの体験活動、お世話になった方に感謝の気持ちを伝える「感謝祭」を行いました。子どもたちは活動を通して米作りの楽しさや大変さを味わい、「生産量や消費量の減少」や「食品ロス」、「SDGs」などの問題に注目して、自分にできることを考え、「食」について思いを深めることができました。



6年生 総合「大好き新潟 ～生きる～」 〈6月「夢サポート塾」〉

さまざまな分野で活躍されている計13業種のプロフェッショナルの講師の方々から、仕事についてお話をお聴きする、職業講話「夢サポート塾」を全5回行いました。「夢と目標の違い」や「プロとして生きるこ



と」、「働くということの意義」など、それぞれの経験を踏まえたお話を聴いたり、実際の仕事の様子を見たり、プロの仕事体験したりしました。鳥屋野小学校と関わりのある身近な先輩たちの話に目を輝かせながら、考え方や生き方の道標を学びました。



〈10月「会津での学び」〉

10月30日（木）、31日（金）に会津方面へ修学旅行に行ってきました。天候も心配でしたが、絶好のコンディションで2日間存分に楽しむことができました。

今年度の修学旅行は、『挑め！進化のその先へ～修学旅行で深めるワンチームの絆～』のスローガンのもと、実行委員会を中心に計画を進めていきました。修学旅行の二日目の班別研修では、班ごとに探究



テーマを決め、事前学習で立てた計画に沿って、活動を行いました。トラブルが起きても班員全員で協力しながら解決していき、絆を確かなものへと深めていました。また、実際に伝統工芸品や歴史資料を見たり、制作の体験をしたりする中で、福島歴史や文化、偉人への理解を深めることができました。街の方の優しさ、仲間との協力の大切さ、会津の歴史を感じることでできた修学旅行になりました。



〈2月「未来に生きるわたし」〉

2月10日（火）の学習参観では、総合的な学習のまとめとして、「未来に生きるわたし」の発表を行いました。将来、自分が働いて活躍している姿を想像し、そのために今後、大切にしたい姿勢や言葉など、スライドを使って発表しました。どの発表も「自分らしく生きる」ために、より現実的に目標を明確にして、努力していくという気持ちが伝わる発表になりました。

